



## 理科特別授業感謝状贈呈式～御協力ありがとうございました～

2月15日(水)に、仙台市理科特別授業感謝状贈呈式を行いました。この事業では、小学校5,6年生を対象に、専門的知識や技術を持つ企業の方や大学の研究者などを講師として派遣し、授業を行っています。令和4年度は、26団体の方々に御協力をいただきました。来年度も仙台市理科特別授業の実施を予定しております。授業プラン集は4月中旬頃送付予定です。多くの学校からの申込みをお待ちしております。

授業の様子



感謝状贈呈式



【令和4年度理科特別授業講師】※敬称略順不同  
 (株)アドバンテスト, (株)エフ・エー・アネックス,  
 (株)MCラボ, 応用地質(株), おてんきぼうさいラボ, (株)ガーデン二賀地, 鹿島建設(株), (株)ケディカ, ゼライス(株), 仙台市ガス局, 大和ハウス工業(株), 東北電力(株), (株)トーキン, 日本工営(株), パナソニック(株), (株)東日本ソルト, ピッグケア, 八木山動物公園フジサキの杜, (株)横浜八景島仙台うみの杜水族館, 宮城大学, 東北大学大学院(工学研究科・工学部, 生命科学研究科) 山形大学大学院

## 1人1台端末の活用は教育センターでも広がっています!

10月より、教育センター各研修室において、学校から持参したChromebook(Wi-Fi機)を使用できるようになりました。各研修担当より、通知されたパスワードを入力すると使用できます。なお、セキュリティの都合上、定期的にパスワードは更新されます。先生方も端末を積極的に御活用いただき、クラウドの利点を生かして研修成果を学校に広げていただければと思います。なお、個人所有のPCや携帯電話等でのWi-Fiは使用できませんので御注意ください。



【教育センターはOJTで学び続ける教職員を応援します!】

## 令和4年度 長期研修報告会

2月22日(水)に、令和4年度長期研修報告会が行われました。長期研修事業は、今日的教育課題の研究を通して、実践的指導力や学校運営力を身に付け、学校の中核的な役割を担うミドルリーダーの資質能力の向上を目指すことを目的として行っています。研修員6名は、1年間研修を積み重ねてきた成果を報告しました。



参加された先生方からは、以下のような感想をいただきました。

- ・ 児童がグラフから読み取った事実を基に自分の考えを持つためには、社会科や総合的な学習の時間、算数など教科横断的な視点でカリキュラム・デザインをすることも重要だと感じました。また、探究的な学習のプロセスを通じて複数の情報から必要な物を選択したり、資料を根拠に説明したりする力の育成が求められる中、大変提案性の高い研究だと思いました。
- ・ 数学の授業でも見通しや根拠を持った説明をできるように指導したいと日頃から考えており、大変参考になりました。価値付けをすることで、生徒も自信を持って考えられると感じたため、生徒の姿をよく見取っていきたいと思います。
- ・ 児童に明確な視点を与えることで、より多くの気づきと仲間の良さを見付けることができるようになったと分かりました。また、見取る視点の細分化、気づきを言語化する工夫など、このような活動を通して、自身の課題に気付くことができ、技能の習得にもつながるのだと思いました。
- ・ この分野を研究で取り上げられたこと、とても真似できない!と思いました。今はICTの活用も進んでいるので、「事象」をコンピュータで集計させ、結果を見せるという試みもよいかと思います。勉強になりました。
- ・ 多くの教科でプログラミング的思考を働かせる実践が行われていて、大変勉強になりました。「キーワード」で他の教科に生かすことができ、児童も教科横断的に捉えている姿が見られ、本校の実践でも取り入れていきたいと感じました。
- ・ スタディ・ログで蓄積・可視化することによって、生徒は学習したことを整理し、より深く理解することができるのだと思いました。単なる知識の羅列ではなく、多面的・多角的な考察につなげるためには、教師のファシリテートも必要だと感じました。

今後、教育センターWeb ページに研究の概要をアップする予定です。研究の成果を是非御覧ください。

「長期研修」→<https://www.sendai-c.ed.jp/02kensyu/02cyoken/choken.html>

【教育センターはOJTで学び続ける教職員を応援します!】